

報道関係者各位
ニュースレター



ブルーカーボンプロジェクト特設サイト公開

－ 海を知る人たちと、海を見続けてきた技術で、未来の海を守る。－

古野電気株式会社(本社:兵庫県西宮市、代表取締役社長執行役員:古野幸男、以下 当社)は、藻場の保全・再生を通じて持続可能な海づくりを目指す「ブルーカーボンプロジェクト」の特設サイト(<https://future-vision.furuno.co.jp/blue-carbon/>)を公開しました。当社が長年培ってきた超音波技術を活用し、海洋環境の保全とブルーカーボンの創出に貢献する取り組みを紹介しています。



ブルーカーボンとは、海洋や沿岸域の生態系(藻場、海草、マングローブなど)が大気中の二酸化炭素(CO₂)を吸収し、炭素として海中に固定する仕組みを指します。これらの生態系は、地球温暖化の緩和に貢献する重要な役割も担っており、気候変動対策としても世界的に注目されています。

■「ブルーカーボンプロジェクト」について

当社は藻場の保全・再生を通じた持続可能な海づくりを目指し、2025 年に本プロジェクトを始動しました。全国の漁業者、自治体、研究者、地域団体など多様なパートナーと連携し、魚群探知機による超音波技術を活用した藻場モニタリングを通じて、海洋環境保全とブルーカーボン創出の取り組みを推進しています。



【特設サイト】

本サイトでは、ブルーカーボンに関する基礎知識や魚群探知機を活用した藻場モニタリングの仕組み、全国各地で進む活動事例のほか、プロジェクトメンバーの想いなどを紹介していきます。

<https://future-vision.furuno.co.jp/blue-carbon/>



海底に広がる、海の再生を担う海草

藻場の分布



第3回 野島一周・富海



海藻高さ(m)



実験海域における藻場の分布イメージ

今後も当社は、2050 年の未来社会コンセプト「Ocean 5.0」※の実現に向け、「海の恩恵をすべての生きものが受け、さらに海へ恩返しする未来」を目指し、新たな価値創出につながる技術開発を進めるとともに、海洋環境保全に寄与する社会連携にも積極的に取り組んでまいります。

※未来社会コンセプト「Ocean 5.0」とは…海洋の未来や社会環境をテーマにした論文や、書籍など、様々な文献をもとに 2050 年に到来するであろう世界を当社が予測して描いた未来社会コンセプト。過去、現在、そしてこれからの海の未来を「Ocean 1.0」から「Ocean 5.0」の 5 段階に分類しており、「1.0 海の恩恵を発見」「2.0 海へ自由に航海」「3.0 人類中心で海の支配」「4.0 持続可能性の模索」と続き、2025 年現在は「Ocean 4.0」の時代を生きっていると定義している。



【関連リンク】

ブルーカーボンと魚群探知機の意外な関係-海の力で CO2 を減らすためのフルノの挑戦-

<https://future-vision.furuno.co.jp/mirai-pulse/detail/20260806.html>

フルノの技術で、もっと豊かな海の未来を。「ブルーカーボンプロジェクト」

https://note.com/furuno_umi_note/n/n651db22a2e05

以 上